

刊夕 日八十月七

七夕祭

島田忠夫

平町のために

ハアー星の戀
年にひと夜さ
七夕さまが
はれてね

はれて逢ふ瀬の
宵まつり

サアサタナバタヨイト
コヨイトナ

サアサタヒラハヨイト
ヨイトナヨイ

ハアー添ひ遂げて
想ひ出すさい

ハアーほのぼのと
二人ネ

ハアー遠灯
鑑山にほんのり

ハアー遠灯
浜にはチラリ

ハアー遠灯
星かざり

ハアー遠灯
なかのネ

ハアー遠灯
なかの平は

ハアー遠灯
口を云へない

ハアー遠灯
磐城の育ち

ハアー遠灯
こころネ

ハアー遠灯
心づくしの
星祭

ハアー夏井川
のぼる御龍燈
七夕さまに
遠慮

うすぐと
遠慮したやら

ハアー天の川
更けて曇れば
尼子の橋で

乙女ネ
をとめ一途の
戀もある

ハアー草まくら
旅の平で
七夕まつり

ハアーほのぼのと
二人ネ



定價一部金販賣一ヶ月金販賣郵稅五厘
廣告科五號上字結一行金五拾錢
日報每冊之額日休刊
發行者人印題人印
發行者石井部平町長
發行所常磐毎日新聞社
印製所常磐社印
印製六二〇年
印製株式會社
刊

X 外科 内藏外科 院 安 齋
△入院隨意△
光線科 院 安 齋
新設△
產婦人科 醫學士 黑澤廣
平町田町 電四七五

ウワツハツハツハ

生の旨さを知らずに
ビールを語るなんて?

例年の通り 生ビール 賣出し

キリンビール仙臺工場直送

……(毎日午後三時着荷)……

平會館

洋食ハ
キリンビール仙臺工場直送

●御希望の方は當店迄御出下さい

小 店 員 入 用

平驛前
阿部石炭店

電話三十七番

喜多流謡曲と仕舞の
お稽古をお奨め致します

例年通可致候
土用丑日牛肉賣出を

喜多流 舞曲白土會
入會隨時 平町田町六九
電話一二七番

例年通可致候
土用丑日牛肉賣出を

平町田町六九
電話三二三番

喜多流謡曲と仕舞の
お稽古をお奨め致します

例年通可致候
土用丑日牛肉賣出を

平町田町六九
電話三二三番

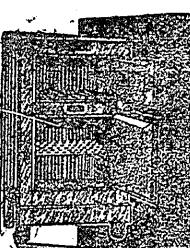
井坂醫院

平町田町
電話五五九番

七月二十日土用入 同二十三日大暑
同三十日土用丑日 八月八日立秋

時下各位如何御暮被遊候哉御伺申上候
尙盛夏行事

株式会社 丸ほん冷蔵器
営業所 平町三丁目一六番
振替東京三一七二四番
製作所 平町新田前一八二番



僅かの氷で非常に早くよく冷える
(丸ほん冷蔵器)

御家庭にも御營業にも最も理想的な冷蔵器……

今年は外壁の絶縁装置を特に
完全に改良を加へましたので

より一層僅かの氷で非常によ
く冷える様になりました。

部の構造にも一大改良を加へ
ましたので排水が良くすべて

便利になりました爲に貯蔵さ
れる期間も延長されました。

價格は……精選した材料を完備した製法に依る大量
製造の爲め良品を廉價に御提供する事が出来ます。

神佛具 本橋花造店 —速價廉—



番一六三電

町川新町平

一七四 雁から狙撃
 リ王臺より射出す砲丸のために黒門口へ押しよせた官軍はさんざんに射すくめられ、そこへ彰義隊のうちにも最も勇敢なるものが斬つて出たため官軍はますます立つ、すると藤堂の家來鷹取春朔と申す者は神田川の橋々を警戒して居つたが、上野で戦ひを開始しなと聞いて部下の兵十五人を引きつれて観察に来た、黒門口にむかつた官軍は三枚橋まで追ひ立てられて大分苦戦したし居る、これを見て鷹取春朔が春「これはいかんな、さすがの薩摩の兵も追ひ立てられたな、このまゝにいたし置くと敵はます／＼氣勢を張り味方はいよ／＼不利の地におち入る、これは今うちに策を用ゐる盛返さねば大事を引きおこす」といつた、ドドーンバラ／＼大砲の音がひどきわたり小銃の玉は降るやうに飛び来る春「これは危ない、ウム山王臺から射ちおろして居るな、これには官軍も困るであらう、黒門口を攻めるよりこの山王臺の敵を追ひ拂

勝利を得ることはならぬ」ところで薩摩の隊長益満休助に會つて

春「追ひ拂ふことはならずとも力だけは弱めて見せるどうぞ二十人ばかり兵を添へて頂きたい」

休「ウム鷹取か、敵は強いよ、彼等は勝敗をかへりみず無法に斬つて出る」

春「山王臺の敵をうたねば黒門を突破して山内に入ることはなりますまい」

（續上段）悟道軒園玉（作）尾至陽（晩）

はねば黒門を破るとはなるまい」

ビューツドドーン

春「危い／＼、これはこゝには居られぬぞ、また兎も角も山王臺の敵をうたねば

休「それはえらいな、貴公の手にてあの敵を追ひ拂ふ

春「それでは拙者が計策を用ひて山王臺の敵を打ちはらふことにいたすであらう

春「それでは拙者が計策を用ひて山王臺の敵を打ちはらふことにいたすであらう

春「お出でくださいまし」といひまでも足音高く二階へ上り山に面した座敷へ來たがむかふにあつたスダレを持つて来てさげ、そのうしろに兵士を二列にならべ、山王臺から黒門口へ攻めよせる官軍へ砲丸を浴せてある、その者共をこの二

休「それはえらいな、貴公の手にてあの敵を追ひ拂ふ

春「大分さわがしいのう」といつたがこれほど騒々しいものはない

女「入らつしやいまし、今は休んで居りますから又打ちおろしそれに照尺も正確であるから一發も仇玉はない、それ故味方の死傷者はぞく／＼増して来る」

春「お出でくださいまし」といひまでも足音高く二階へ上り山に面した座敷へ來たがむかふにあつたスダレを持つて来てさげ、そのうしろに兵士を二列にならべ、山王臺から黒門口へ攻めよせる官軍へ砲丸を浴せてある、その者共をこの二

休「それはえらいな、貴公の手にてあの敵を追ひ拂ふ

春「大分さわがしいのう」といつたがこれほど騒々しいものはない

女「入らつしやいまし、今は休んで居りますから又打ちおろしそれに照尺も正確であるから一發も仇玉はない、それ故味方の死傷者はぞく／＼増して来る」

春「お出でくださいまし」といひまでも足音高く二階へ上り山に面した座敷へ來たがむかふにあつたスダレを持つて来てさげ、そのうしろに兵士を二列にならべ、山王臺から黒門口へ攻めよせる官軍へ砲丸を浴せてある、その者共をこの二



吉田眼鏡院

平町紺屋町

階から狙撃した、距離が近いからよく命中する

春「しめたな、これ隊長らしい者をねらつて射て」

○「どなんなものだ」と狙ひをさだめて射ち出

す、枕をならべてバタ／＼

と彰義隊はたぶれる、大砲

の射ちかたに指揮をいたし

て居つた後藤鐵次郎に石神

鎧之助等も鷹取の部下のた

めに戦死いたした、續いて

負傷者も多く出した、それ

を荷いで黒門口の番小屋ま

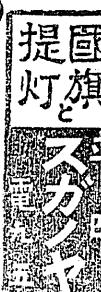
で連れて来てこゝで手當を

加えたがこの番小屋も官軍

より射ち出す砲弾のために

くだけ、ここに入つてゐた負傷者は一片の肉を止めて

戦止した。



高橋時計店

平町二丁目

・小店員募集委細面談。

内外科一般

金成醫院

金成忠義

平鍊田町(電三五八)

三井タクシーシルク

番五八六電。二平

夏の御飲み物

アイスクリーム

ミルクセーキ

リーダー水色々

アイス・キアアイス

別味みつ豆

特製氷あづき

十錢

例年通り始めました

ほどよく香のよい宇治名産氷挽茶、御土産に

好適なクリームモナカも御座います。

小瀧へ!!

料	1.50	2.00	2.50
(御宿泊在席料)	.20		
△日自歸宿料	.50	.80	[入場料・室料一切夜1.50]
△料理一定食	.80	1.00	[その他一品料理洋食・チス・胃腸病・神經痛・リウマチ・中風・肥胖病・婦人病・逆上・東京衛生試験所検定済]
△湯			[内球臺・高級ラグーン・大廣間・撞水室・近代式沿場・洗面所・水槽・便器・備讀書式・御子様運動器具・洗魚料理(うなぎ・鰯・蜂密羊かん)]
△諸設			
△名物			

●女中數名入用

常磐線湯本驛

御旅館御自炊

小瀧鑛泉

瀧の湯

電話(小名浜)103番